

水とみどりの
回廊

the Millennium City w 11
Water and Greenery

水とみどりの 千年都市を めざして



私たちは阪神・淡路大震災で、水とみどりの大切さを知りました。

阪神・淡路大震災の被害をいっそう大きくしたのは、震災直後に同時多発した火災でした。ところが消火栓のほとんどは使用できません。それに替わって消火活動を助けたのは河川やプールの水でした。この経験から私達はいざというときには目に見える身近な水が大きな役割を果たすことを身をもって学びました。震災後の調査では公園や街路の樹木が家の倒壊や火災の拡大を防いだこともわかりました。

阪神・淡路大震災から私たちが学んだこと



今の阪神地域の水とみどりは…



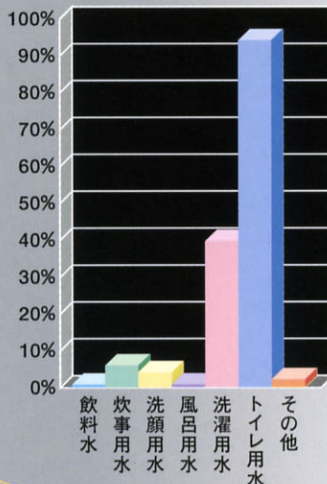
初期消火の水さえあったら

火災は初期段階での消火が行われれば、大災害にはなりません。震災時、その初期消火のための水がなかったのです。

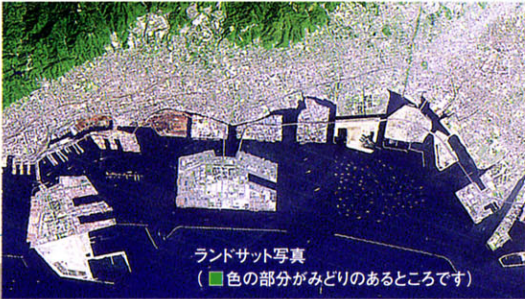
災害時に人々の暮らしを助けた水

震災後にはトイレの水や洗濯など生活用水の確保に苦勞し、川の水で顔を洗い、衣類の洗濯をしました。

震災後の河川水の用途



水とみどりの 千年都市を めざして



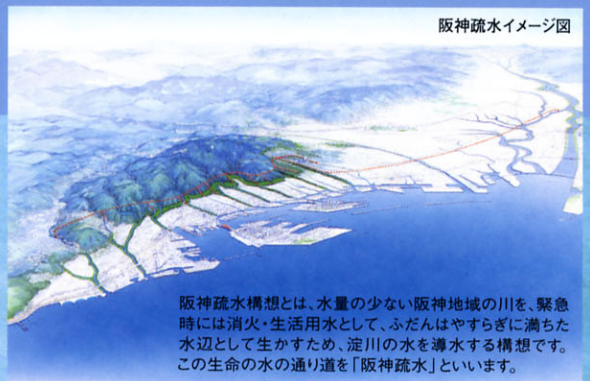
まちのなかにはまとまったみどりが
ほとんどありません。



将来の
阪神地域の
都市像



阪神疏水イメージ図



阪神疏水構想とは、水量の少ない阪神地域の川を、緊急時には消火・生活用水として、ふだんはやすらぎに満ちた水辺として生かすため、淀川の水を導水する構想です。この生命の水の通り道を「阪神疏水」といいます。

阪神地域で使う水の約75%を
淀川に頼っています。

阪神地域はもともと水が非常に
少ない地域です。

阪神地域の水源

地下水

県内河川

淀川



将来は、水とみどりの 豊かな阪神地域にしたいですね。

水とみどりの豊かな都市は災害に強いだけでなく、人々に安らぎと心豊かな空間を提供することになるでしょう。鳥や植物など生き物にとってもやさしい環境をつくることになります。さらに、地球温暖化などの環境問題に対しても良い効果をもたらすでしょう。



都市の危機管理・災害への

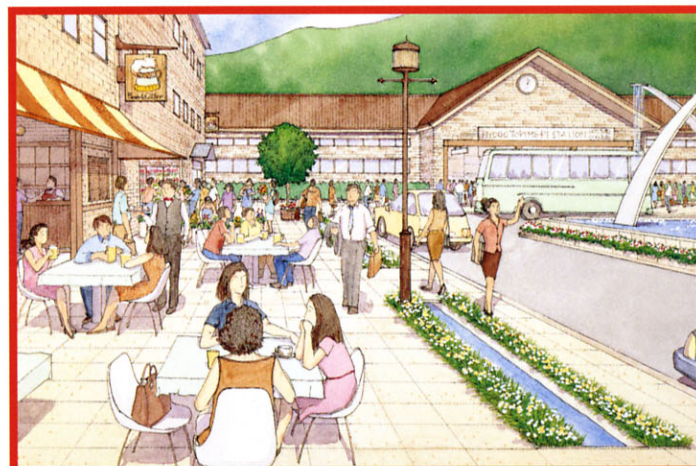
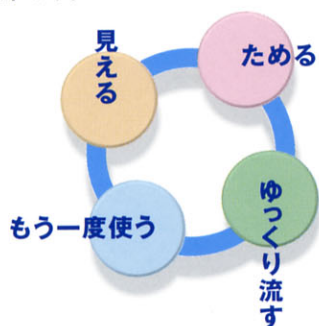
そなえの回廊(安全)

水が身近なところを流れているので
いざという時にすぐ活用できます。



水とみどりの回廊

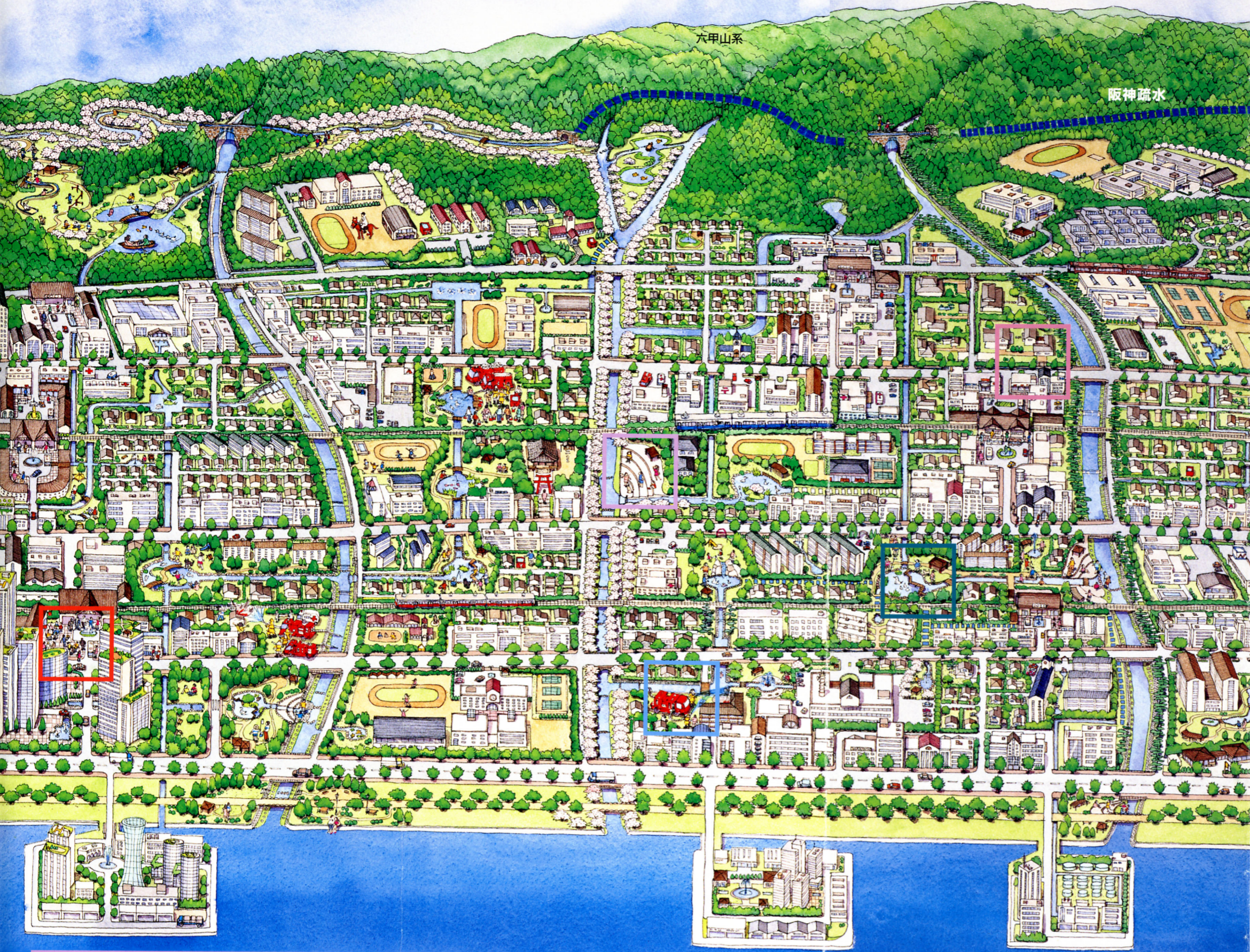
「水とみどりの回廊」とは、「水とみどりの千年都市」の基盤として、都市を灌漑しながら六甲山、海、河川、市街地を水とみどりで格子状にむすぶ、「ためる・ゆっくり流す・もう一度使う・見える」新しい水循環システムです。それは都市生活に欠くことができない「そなえ」「こころ」「いのち」「いぶき」の回廊です。



コミュニティ活性・知的創造の素地

いぶきの回廊(活力)

水とみどりのあるオープンスペースには人々が集い、
楽しく豊かな時間を過ごします。



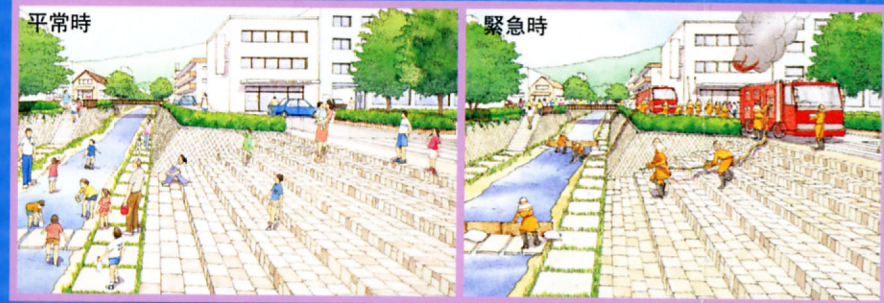
都市のアーバンデザイン・人に優しい
こころの回廊 (快適)

水とみどりは都市のオアシス。
 散歩したくなるような素敵なまちをつくれます。



環境共生・生きものを育む
いのちの回廊 (共生)

地球環境を考えたまちは、あらゆる
 生きものをすくすくと育みます。



【水とみどりの回廊マスタープラン】
 水とみどりの回廊は、阪神地域の自己水源となる河川水、地下水、下水道処理水などに加え、淀川から導水する阪神疏水を水源として、水とみどりの回廊イメージ図のように“川からまちへ”、“まちから川へ”水とみどりを縦横にネットワークするものです。
 「水とみどりの回廊マスタープラン」とは、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市各市の都市計画やまちづくりに関する基本方針等を踏まえながら水とみどりのネットワークの基本的考え方や必要な施策を示すものです。

世界の都市も災害に学んだまちづくり、自然と共生するまちづくりをめざしています。

a

ボストン

パークシステムと呼ばれる公園と公園をむすぶ広幅緑地帯を設けたまちづくりを行い、大火の再発を防いでいます。



b

サンアントニオ

洪水を防ぐため河川の付け替えを行い、旧河川を利用して水辺を軸とした町の活性化を図っています。



c

サンフランシスコ

1906年震災による大火の経験から高所での貯水、複数の給水システムの整備などを進め、充実した消防水利システムをつくっています。



d

フライブルグ

市電の整備とパークアンドライドによる新しい交通政策、世界に先駆けたゴミの分別収集、水とみどりのまちづくりに力をそそぎ、ドイツの環境首都と呼ばれています。



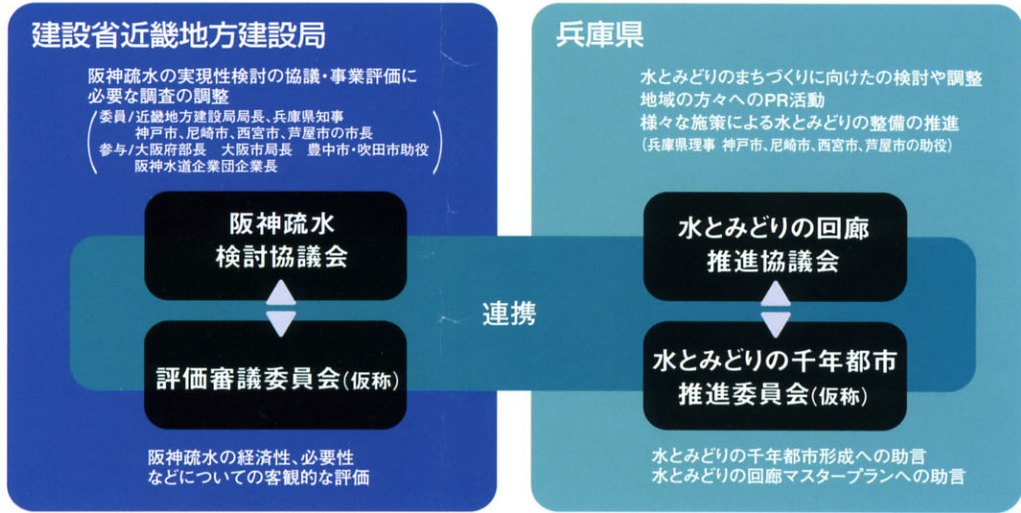
水とみどりの回廊形成に向けて

阪神・淡路大震災は、私たちに「水とみどり」の大切さを教訓として残してくれました。

自己水源の少ない阪神地域において、水とみどり豊かな、安全でうるおいある都市を創造する「水とみどりの回廊」を実現するには、総合的な行政展開を図るとともに、行政と市民が共通のビジョンをしっかりともち、協働してこのまちづくりを推進していくことが求められています。

現在、建設省・兵庫県・関係市では、阪神地域における広域流況改善事業調査や水とみどりの回廊マスタープランの策定などを通して、このビジョンについての検討を加えるとともに市民の皆様にご理解いただくための様々な事業に取り組んでいます。

- 行政間の推進体制を強化し、様々な意見を集約し事業評価が行える仕組みづくりを行っています。



- 水とみどりの回廊によってできあがる将来のまちを市民の皆様にごイメージしていただく事業を展開しています。

「せせらぎ水路」は「水とみどりの回廊」のモデルです。

都賀川公園にある「せせらぎ水路」は、「水とみどりの回廊」の一部を体験していただくためにつくった水路です。一度来てみて下さいね。



都賀川公園



水の豊かな川をつくってみました。

平成11年7月に行った「石屋川防災親水フェア」では上流で貯めた水を流し、ふだんは少ない川の水を増やし、その水を使っての防火訓練をしました。うなぎのつかみ取り大会など、楽しい遊びもいっぱい。

兵庫県では県民の皆さんのご意見を聞きながら水とみどりのまちづくりを進めていきます。このパンフレットやビデオをご覧になったご意見やご感想をお待ちしています。

水とみどりの回廊推進協議会

(兵庫県、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市)

事務局：兵庫県 県土整備部土木局河川課河川計画室

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5丁目10-1

TEL.078-341-7711 (代表)



水とみどりのまちづくりのビデオのご紹介

「水とみどりの回廊」について具体的なイメージがわかるビデオ「水とみどりの千年都市をめざして」が完成しました。近畿地方建設局の阪神疏水についてのビデオ「安全とやすらぎと」も併せてご覧ください。くわしくは左記へお問い合わせください。



- ▲ 阪神疏水解説ビデオ (制作/建設省)
- ◀ 水とみどりの回廊解説ビデオ